

1グループ

子ども

- <強み>
 - ・二名小学校全校生徒 500 名弱
 - ・二名の学力は近年落ちて来てるが高い
 - ・生徒の通塾率が高い
 - ・二名中は西の学習院と言われた時期も
- <残念>
 - ・二名小学校が 20 年前から 3 分の 1 に
 - ・共働きの方が増えて子どもに目がいけない
 - ・バンビの児童数が多い
 - ・保護者教育の必要性
 - ・もっと保護者が自分の子どもに関わらないと地域の高齢者に依存

高齢化

- ・高齢化が著しい
⇒空き家の増加

空き家

- ・二名地区は 3 段階
 - ー二名 (旧)
 - ー西登美 (ニュータウン)
 - ー城ヶ丘 (住民のサイクル)
- ・城ヶ丘は新興住宅が多い
- ・西登美は空き家に転入してくる方がいる
- ・西登美：空き家は資産として取り壊さない
- ・松陽台も空き家は少し有る
- ・空き家対策の手を打とうとしたが実行できなかった

- ・地場産業少ない

つきあい

- ・二名平野とか村のところには転入しにくいのでは？
- ・最近の保護者は子ども会がある地域を嫌がる
- ・新しく転入してこられる方は自治会などの役をしたくない
- ・開発があっても、一緒に付き合いをするのは転入してくる人がかわいそう
- ・地域で人権教育の徹底
- ・相手の勤務先を聞かない
- ・プライバシーが守られている (予期もわるきも)
⇒積極的な付き合いはない
新旧の住民の交流が少ない

子どもの減少とバンビホームの児童数増加のジレンマ

空き家は増えているけど、その土地を活用できていない問題

プライバシーは尊重されているけれど近隣住民同士の関わりが希薄問題

人材

- <残念>
 - ・人材は多いがよそ (大阪) でそのチカラを発揮している
 - ・村でもできる子どもは外に出てしまう
 - ・高齢の人材は多いが、若い人材が少ない
- <強み>
 - ・人材が豊富

過去の人材は豊富だけど未来の人材は乏しい問題

去る平成 27 年 7 月 19 日、二名地区の皆さんと地域の今とこれからを考える上でをみつめるためグループにわかれ、この地区をみて感じることをそれぞれの記事にしてみました。多様な切り口、共通するワードなどあらためて伺える地区の顔をご覧ください。

二名

Times

タイムズ

ビジョンづくり会議
vol1

2グループ

昔ながらの地域・新興住宅・「最」新興住宅の関係を把握し、結びつけるには？

問題があっても、担い手が高齢化・多忙化している。後継者を発掘し、育成するには？

本当の意味で団体同士が連携するにはどうすれば？

情報伝達

- ・広報をちゃんとみてもらいたい
- ・情報伝達伝達できていない (行政と)
- ・市からの配布物→読む人への配慮できていない
- ・結びつきの薄い人にどう伝える？
- ・人が集いなくなるイベントを行い、そこで情報の共有
- ・生きたネットワークを探る
- ・行きたくなるイベントを行う

リーダー

- ・リーダーになる人を育成する体制が無い
- ・何かあった時に頼りになる人
- ・おせっかいな人が減っている
- ・それぞれの団体の抱える問題点を出しあう場
- ・自治会が報告中心の場になり、問題点が上がらない

交流の場所

- ・誰がするの？
- ・世代間での意見交換をする場が無い
- ・いろんな世代が集まれる場があれば
- ・空き家をみんなが集まる場所に
- ・何かやるとなると責任の問題が出てくる
- ・デイサービスのせいで、家の中が見えにくい
- ・問題のアウトソーシング
- ・地域包括ケアシステムで人が帰っれてきた時にどうするのか

住みやすい

- ・駅が近い子育てしやすい
- ・住むには環境が良い
- ・自然が多い
- ・大阪に出やすい
- ・住みやすい！
- ・子どもが増えている地域もある
- ・大型店舗のおかげで買い物難民減った
- ・新しい人が入って来やすい

少子化

- ・新興住宅は子どもが少ない
- ・新しく来た人がつながりにくい
- ・百姓する人が減っている
- ・担い手が減ってきている
- ・新しい家に若い人が増えている

地域の縁が深い

- <強み>
 - ・仲の良いまち
 - ・トラブル少ない
 - ・昔ながらの地域は仲よし
 - ・寺社のつながりが大きい
- <残念>
 - ・あいさつが帰ってこない
 - ・新興住民の地域は仲が良くない
 - ・マンション感覚
 - ・旧の人でも新しく入って来た人には縁が薄い
 - ・地域間でも差がある
 - ・難しいことアウトソーシング
 - ・自治会中心のつながりしか無い

空き家

- ・空き家の管理ができていない
- ・空き家の木が外に出ている
- ・空き巣が多い

- ・深夜の防犯ができていない

3グループ

空き家が気になる

- ・防犯活動
- ・活用方法を考えたい

空き家

- ・空き家の所有者の思い・考えが分からない
- ・新興住宅の防犯
- ・西登美丘防犯空き巣増えている
- ・防災・衛生

買い物・移動が困る（高齢化）

- ・解決策を考えたい
- ・買い物代行（昔の付き合い）

高齢化

- ・参加しない人が心配
- ・活動に工夫が必要
- ・男性が地域につながらない
- ・勧誘の工夫
- ・老老世帯
- ・だんなが家に居てこまる
- ・一人暮らしの見守り
- ・縁が弱い（つながり少ない）
- ・血縁が少ない
- ・西登美：高齢者の孤立化
- ・無縁社会
- ・新旧の交流ない
- ・車に乗れない人不便
- ・本数少ない
- ・買い物困る／坂道
- ・廃品回収に工夫を

男性の孤立が気になる

- ・男性がつながる工夫を考えたい

家庭・少子化

- ・地域に根ざした親と子ども具体化
- ・少子化→幼稚園廃園
- ・女性の社会進出→今まで地域の担い手が・・・
- ・PTA 活動参加少ない
- ・一人親家庭
- ・いじめの問題
- ・対応してくれる先生

子どもでつながる

- ・賃貸の自治会費が流動的
- ・開発の条件
- ・子どもの自治会
- ・子ども会子ども仲間づくり

地域活動に・・・

- ・若い人たちの参画を考えたい

活動元気

- ・話し合い・協調性
- ・集いの場・学びの場
- ・リーダーシップ
- ・連合会中心でまとまっている
- ・話し合い安い協調性
- ・リーダーシップが重要
- ・キーパーソンが多い
- ・活動が多い
- ・ふれあいの会集いの場
- ・二名お話し
- ・子育てに強い
- ・地域の方と学級支援（通学支援）

人材

- ・業務忙しい
- ・担い手不足（地域活動）
- ・担い手の発掘と育成

4グループ

一人暮らしが増えている

男性の一人暮らし

- ・空き家が少なくなっている
- ・子どもを通じて仲の良い親が多い
- ・城ヶ丘は子どもが増えてきている
- ・若い世代は子どもつながりで参加がある
- ・ボランティア団体のマンパワーはすごい
- ・意識が高い
- ・社協の取り組みが熱心である

- ・人口が減っている

幼稚園と保育園一本化

- ・幼稚園→二名から清和に行っている
- ・二名もがんばれ
- ・子ども園ほしい
- ・バンビーホームの増設

地域

- <強み>
- ・つながり深い
 - ・途中後悔するが夏祭りはやってよかった

- ・夏祭り秋祭りがある
- ・働く場が増えた

- <課題>
- ・婦人会に入ってくれない
 - ・核家族化の進行
 - ・条件の良いところに移ってしまう
 - ・つながりは深い
 - ・しきたりがある
 - ・地域のためにと考えているいるが少ない
 - ・地域のことを考える人すくない

もともとの幼稚園が無くなるかも！働きながら子育てできるか気になる

自治会運営

- ・ノウハウの継承
- ・会長など役員が受け手いない
- ・自治会の役員交代が毎年ある
- ・本当は来年の班長の人に見てほしい
- ・毎年、人が入れ替わってしまう班長
- ・でも固定化できない
- ・40歳代がイベントに参加してくれない
- ・本当は地域のことをやりたいが月一程度
- ・一回入ると抜けられないイメージ
- ・経験の差が咬み合わない
- ・青パト60-70世代の人が少ない
- ・60歳代の人が老人会に入ってくれない

担い手が不足しているけど若い人も働きながら関わりたい問題

5グループ

つながりの輪をひろげて地域の宝物が増えたら ▶関われる場：若い人とかいろんな世代が活躍があればいいかも！

自治会

- 地域の中でのコミュニケーション不足
- ・女子の参加の場が無い
- ・自治会内でのコミュニケーションが少ない
- ・役職が付くのを嫌う
- ・役が1年で終わる
- ・参加者が同じ
- ・各会のまとまりが良い
- ・女性が多く参加している
- ・会員増加

若い世代が関われる、活動できる場が少ない →種類・バリエーション

子ども

- 子どもの遊びの場不足
- ・少子化
- ・子どもが少ない
- ・子ども（女子）の参加できるスポーツプログラムが無い
- ・指導者の確保が難しい
- ・子どもたちのスポーツの場
- ・スポーツを通じての他年齢の集まり
- ・グラウンドゴルフ大会のサポートを高齢の方が！

公民館を活用しているトコ →あんまり若い人少ない問題 ●他にもたくさんやっているところ

高齢化

- ・高齢一人ぐらしの増加
- ・ゴミ収集出すのがつらい
- ・お年寄りの参加しやすい場
- ・あつまる場所までの方法
- ・坂が多い

学校支援

- ・きこり隊
- ・一木の剪定／草刈り
- ・見守り隊であいさつ

地域のコミュニケーション不足 ■高齢・働く世代。子どもの親世代 →世代間交流 ■自治会・地域の担い手のコミュニケーション不足

地域活動

- 全体をバックアップ
⇨空き家問題（地域差）
- ・近隣のつながりがある
- ・助け合い
- ・自主防災組織（見守り隊・きこり隊）
- ・助け合い
- ・地域活動
- ・マンションも家賃の中に自治会費で加入率UP
- ・保育園幼小中が近い！
- ・老人ホームも近い
⇒一部の地域のことという意識
- ・初詣でたくさんの方が来る
- ・隣組らしさ
- ・若い人も入って行きやすい
- ・親しみある
- ・地域の祭りで誰でも参加できるようにしている！
- ・参加者・運営（引き子）両方共OK
- ・イベント（地域）を誰でも参加できるように
⇨マンション化あいさつしない